

2021年8月23日



～ガーナの文化伝統に共生することは出来るのか？田達の掲げたSDGsを考える～

これまで何度か書いた言葉「チーフ制度」というガーナの文化伝統と同じくガーナ北部には男尊女卑が色濃く残っていると耳にしたことがあります。夫が全ての決定権を握りそれに従わなくてはならないもの。首都にいと女性起業家も多く、企業に勤めている女性の多くは私の知る限り結婚して子どもが生まれても勤めを続ける人がいるので、男尊女卑には遠い社会だと感じる一方で、実はやはりガーナ北部だけでなく農村部にも男尊女卑があることをこの10年でヒシヒシと感じていました。それはチーフ制度傘下のもとの男尊女卑で外人である私も大いにそれを体験しなくてはなりません。この報告書は感情的にならず着色もせず、プロジェクトの歩みとして事実を書き留めていこうと思っています。今回、ひしひしと「あー、やっぱりそうなのね。」と思わずにいられなかった出来事は壁のペイントの色です。8月10日、小学5年生まではスクールバケーションに入り、担当するクラスも少ないので現場の写真撮影目的で学校に行ったところ、この日初めて、建設依頼をした会社アボロカンパニーの経営者と会いました。いつも会うコントラクター“チャールズさん”の実のお兄さんで、穏やかな表情はチャールズさんそっくりです。フランシスアボロさんは、タイルやトイレの便座などの搬入を行ない、今後のスケジュールの説明をしてくれました。タイルを床に敷いた後に外壁内壁の塗装に入るスケジュールを話している時に校長も加わりました。外壁の色は最初の契約時通りレモングリーン色です。その話をしていると校長が「トシコ、壁の色はトビィに聞かないとならない。」と私が話している途中で割って入りました。トビィ氏には4月の段階、秋澤の手紙を渡した時に建物の大きさ塗装の色も含めて説明してオーケイを買ったのにもかかわらず、プロジェクトの変更そしてまた変更を余儀なくされた経緯もありますが、ここにきてまた「トビィに聞かないとならない。」の言葉に裸の王様の国から抜け出せない王国の人々と感じずにはいられませんでした。その状況、私の表情を読み取ったフランシスさんが提案をしました。当初のプランと外装が大きく変わっています。宮殿を思わせる柱、そして将来的に2階建てにする構造のため上部がコンクリート。フランシスさんが「外壁はレモングリーン他は・・・」と説明し、その色で工事が順調に進むのか（進んでいるのか）と思いながら、翌週19日（木）に学校に行ってみると、見ただ目に大きく進捗はしていませんでした。そして校長に最初に言われたのが「トビィがペイ

ントの色を許可したよ。」というものでした。ああ、これなんだな、全ての決定権は男性に有って長（チーフ）にある。常に尊敬と服従を強要され続けている10年の中で、トビイ氏だから・・・というのではなくチーフ制度と男尊女卑が色濃く残る文化ゆえ起こる事案なのだと思わずにいられませんでした。8月初旬、縁あってSDGs 高校の【6安全な水とトイレを世界中に】にスペシャルゲストとして登壇させていただき、「本当に必要なものは何なのだろう？」とインフラも整っていない環境のもと水洗トイレ付きの図書館を建設しているけれども、村に水洗トイレは必要なのか？という投げかけをしました。この国連が2030年ゴール目標に掲げたなかに奇しくも【5ジェンダー平等を実現しよう】があります。SDGsにはほど遠い世界にいるような気がしてなりません。

前回報告後の進捗状況

8月10日（火）タイルとトイレが搬入されました。前週の金曜日からは、小学5年生までが学期休みに入ったため、学校に来ている生徒は6年生から中学3年生までです。学校休校から再開になった今年の1月、学校カリキュラムも変更になりました。（これまで今の時期は一斉に学年が学期休みに入り受験を控えた中学3年生のみが登校している時期です。）搬入の手伝いをしているのは中学1年生。図書館を頻繁に利用している学年です。

「図書館を造っているのよ。」と言うととても喜んでいました。



床の細いパイプの中に電気系統の配線が通っています。



この日、建設している建物周りにあるゴミやブロック片など工事完成の引き渡し時にはきれいにしてから引き渡しという事をフランスさんと確認をしました。

8月19日（木）

この日、タイラーが入りタイルを敷く作業となりました。私が学校滞在中に写真に納められたのは床をセメントで均す作業のみでした。



電気系統の配線はタイルの下に埋め込まれます。

つい先日、似たような作業をアパート内で見ました。大家さんの次男が結婚をするのに家周りをきれいにする際一部をタイル張りにしたのですが、こうして床をセメントで均すことはせず、水分を多く含んだセメントを地面に置きその上にタイルを敷いていく作業でした。その作業を見た後だけあって、建築に関しては全くの素人で正解はわかりませんが、この仕事の丁寧さを見て、アボロカンパニーに依頼して本当に良かったと思いました。



フランシスアボロさん

次回報告は9月6日を予定しています。

水洗トイレ付図書館建設プロジェクトサポーター 一般社団法人ギブアウェイ様